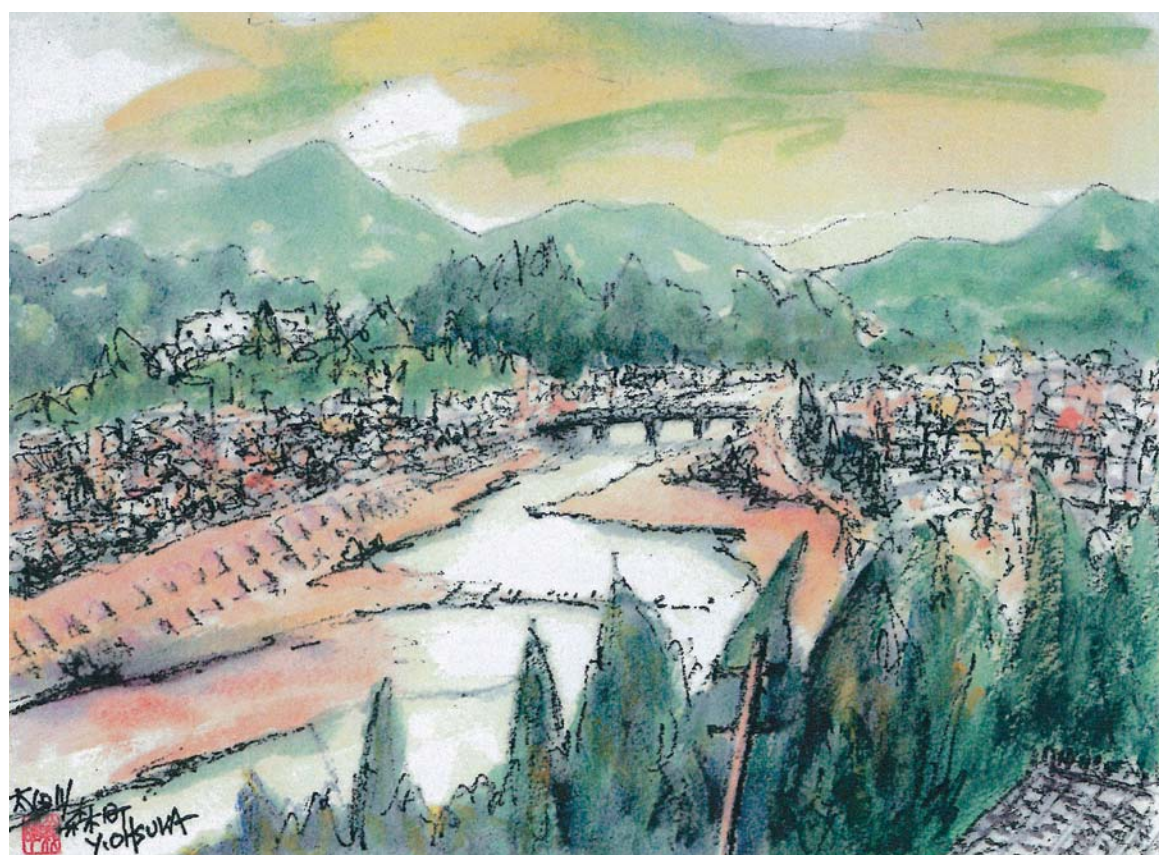


森地区まちづくりの会 報告書

～まちづくりの取り組みへの提案～



太田川と森地区

森地区まちづくりの会

はじめに

森地区^{*}は森町の中心市街地であり、かつては火伏せ「秋葉山」への秋葉街道の宿場町として、また太田川の水運をいかし物資が集まる「古着の町」として栄えてきました。今でも江戸時代から続く古い町並み、商屋や土蔵などが残されています。しかし、時代の流れとともに、人口の流出や商店街の衰退が進むなど空洞化が進み、中心市街地のかつてのにぎわいが失われてきています。

また、本地区より南部に位置する遠州森駅周辺では土地区画整理事業等により、面的な整備が進められてきましたが、その一方で、本地区の都市基盤整備は遅れ、依然として狭小な道路が多く、上水道施設や排水路等の老朽化が進んでおり、整備が望まれているところです。

このような中、平成24年4月には、新東名高速道路が開通し、森町の新たな玄関口となる森掛川インターチェンジが開設されるとともに、本地区の玄関口である太田川に架かる「森川橋」の架け替えが進むなど、大規模な都市基盤整備のインパクトをいかしたまちづくりの機運が高まっています。

そこで、歴史的な資源をはじめとする地域資源の活用や中心市街地の整備など、今後の本町の中心市街地におけるまちづくりのあり方を地域ぐるみで考え、取り組むため、平成23年度に「森地区まちづくりの会」を設立しました。

まちづくりの会では、森地区の問題点や課題を身近な視点から捉え、その解決やよりよいまちづくりを実現していくために、2年間にわたり検討を重ね、その成果を「報告書」としてとりまとめました。

また、平成25年度は、本報告書の内容を広く知っていただくため、森地区の住民（町内会長等）のほか、町議会議員、町の幹部職員に対し、説明を行いました。

今後は、本報告書が活用され、継続的な検討から実施へと進んでいくことを期待するとともに、私たち町民の手でできることから次なるステップへと進め、森地区の活性化、ひいては森町全体の活性化につなげていきたいと考えています。

※「森地区」：都市再生整備計画（森地区）の計画区域（城下上、城下下、赤松、川向、本丁、開運町、川久保、大上、明治町、新町、仲横町、本町、川原町、下宿、大門、向天方下、向天方上の全部または一部）

平成26年3月

森地区まちづくりの会 委員一同

■ 目 次 ■

1	まちづくりの将来像	1
2	まちづくりの方向性	3
3	まちづくりの提案	4
4	今後の取り組み	13
5	参考資料	14

1 まちづくりの将来像

森地区がめざす「まちづくりの将来像」を、次のとおり掲げました。

文化の薫る わたしたちが誇れる 森のまち

～歴史文化を尊重した

安心・快適な暮らしと賑わいのある まちづくり～

主役となる地域・住民等の積極的な参画のもと、町屋や蔵などの歴史的な町並みに代表される森地区の豊かな地域の資源をいかながら、生活に最も基本的で欠かすことができない条件である安全・安心かつ快適な住環境づくりを進め、森地区に活気や賑わいを取りもどし高めるまちづくりをめざします。

—【参考】まちづくりの方向性を掲げる上で、背景となった森地区の課題—

■ 本町の中心市街地・商業地として、その機能の充実と賑わいの創出が必要です。

空き家・空き店舗等が目立ち、本町の中心市街地・商業地としての機能と魅力が低下しています。中心市街地の持つ役割を再認識し、機能の充実を図るとともに、空き家・空き店舗等の活用や、町並みの保存など、地域の住民の積極的な参画により、交流を促進し、賑わいを創出することが求められています。

■ 生活道路等の都市基盤の整備などによる市街地環境の改善が必要です。

これまで都市基盤の整備が行われてこなかったため、生活道路等の都市基盤が弱い弱です。市民の生活の基礎的な条件である安全・安心な市街地の形成を図るため、都市計画道路や生活道路等の整備を進め、市街地環境の改善を図ることが求められています。

■ 町屋や蔵など町並みの保存と活用が必要です。

秋葉街道の町並みを偲ぶ町屋や蔵などの歴史・文化的な資源や町並みの景観については、老朽化が進み、解体などにより年々その姿を消しています。本町及び本地区の個性や魅力となる重要な要素として、本町の歴史を後世に継承していくためにも、これらの歴史・文化的資源の保存が求められています。また、保存だけでなく、これらの資源をまちづくりに活用することが求められています。

■ 地域住民の積極的なまちづくりへの参画が必要です。

中心市街地の賑わいの創出や町並みの保存や継続的なまちづくりを実現していくためには、地域住民の理解や協力、自発的な取り組みが大変重要です。そのためには、行政の支援体制の充実を図るとともに、地域住民が積極的にまちづくりに参画できる環境づくりが求められています。

2 まちづくりの方向性

森地区がめざす「まちづくりの将来像」のもと、まちづくりを進める上で視点となる「まちづくりの方向性」を、次のとおり掲げました。

○ 安全・安心・快適な住環境づくりと定住の促進

生活していくうえで、最も重要で基礎的な条件である安全・安心でかつ快適な住環境づくりを進めます。

- ①都市計画道路・新田赤松線の整備推進
- ②狭い生活道路の整備・改良
- ③排水路の改良・下水道の整備
- ④空き地対策の検討

○ 歴史的な町並みなど豊かな地域の資源をいかし、 賑わいを高めるまちづくり

歴史的な町並みに代表される森地区の豊かな地域の資源をいかして、賑わいを高めるまちづくりを進めます。

- ①町屋[※]や蔵の価値の再認識
- ②町屋[※]や蔵の保全と活用
- ③地域の資源をいかした賑わいを生み出す仕掛けづくり

○ 地域・住民が積極的に参画するまちづくり

地域・住民が積極的な参画のもと、地域の個性豊かなまちづくりを進めます。

- ①森地区のまちづくりを考え推進する組織の育成
- ②まちづくり活動の拠点づくり

※「町屋」：本地区においては、昭和初期頃までに建築された商家等の木造家屋全般を示す。軒高を低く抑えた厨子（つし）2階の建物や格子戸も見られる。

3 まちづくりの提案

○ 安全・安心・快適な住環境づくりと定住の促進 -----

①都市計画道路・新田赤松線の整備推進

- 森地区の骨格となる道路として、新田赤松線の早期整備を実現します。
- 整備にあたっては、沿道や周辺の土地利用の促進をあわせて検討します。

(考えられる効果・留意点など)

(都)新田赤松線は市街地を通過する幹線道路であり、森町の市街地全体のアクセス性向上につながります。地区内には狭小な生活道路が多く、消防車等の緊急車両の進入ができない状況にあります。既存の進入できる道路に加え、幹線道路の(都)新田赤松線の整備を進めることで、本地区の防災に対する安全・安心の向上にもつながります。さらに、通学路の安全確保にもつながります。

また、整備による移転の代替地として地区内の空き地等を活用したり、森地区への定住を促進するため、小規模な土地区画整理事業や空き地の交換分合など、道路整備とあわせて沿道や周辺の土地利用を促進するための整備を検討します。

②狭い生活道路の整備・改良

- 森地区の住環境の向上を図るため、生活道路の整備・改良を実施します。
- 整備にあたっては、守るべき町並みや路地空間に配慮します。

(考えられる効果・留意点など)

地区内には狭小な生活道路が多く、消防車等の緊急車両の進入ができない状況にあります。消防車等の緊急車両の進入が可能となるように生活道路の整備・改良を実施することにより、その沿線から直接力バーできるエリアを拡大するとともに、通風や日照の確保、上・下水道や電柱(電気・電話など)等の収容空間としての利用など、安全・安心・住環境の向上につながります。

また、接道要件を満たさないために、建替え等ができなかった老朽化した家屋等の建替えを促進し、安全な市街地へと誘導します。

なお、森地区の魅力・個性となる町並みや路地空間が残るエリアについては、風情や情緒の保存に配慮しながら、町並みや路地空間に似合う整備・改良を検討します。



▲狭い生活道路



▲路地空間

③排水路の改良・下水道の整備と用水の活用

- 家庭雑排水等の排水路の改良を推進します。
- 将来的な公共下水道の整備とあわせて排水路の整備と用水の活用を検討します。

（考えられる効果・留意点など）

地区内の排水路の老朽化等により、悪臭等が発生し、衛生的な住環境が確保されていない箇所がみられます。不良な排水路を改良することで、住環境の向上につながります。

また、公共下水道の整備が計画されており、整備にあわせて老朽化した排水路を再整備するとともに、排水路と用水を活用したうるおい空間の演出などを検討します。



▲老朽化する排水路

④空き地対策の検討

- 空き地の活用を促進するための検討をします。

（考えられる効果・留意点など）

地区内に空き地が目立ってきており、地域の活力や地区のイメージを低下させる要因の一つになっています。このため、空き地の活用や流動化を促進し、地域の活力を取り戻します。

具体的な活用方法の例として、新田赤松線の整備に伴い移転となる土地所有者の代替地としての活用や、空き地を利用した新たな生活道路の整備、来訪者のための駐車場やたまり空間の演出などが考えられます。

また、空き地の情報の一元化などにより、流動化を促進する仕組みについても検討します。

（具体的な取り組み例）

- ・（都）新田赤松線の整備に伴う移転対象者のための代替地として活用
- ・道路の新設用地
- ・来訪者用の駐車場
- ・たまり空間の演出（ベンチ・トイレ等）
- ・空き地情報の一元化と流動化促進の仕組みづくりの検討

など

○ 歴史的な町並みなど豊かな地域の資源をいかし、賑わいを高めるまちづくり -----

①町屋や蔵などの森地区の価値の再認識

- 保存すべき町屋や蔵など、森地区の歴史文化的な価値を再認識し、保存に対する意識の醸成を図ります。

(考えられる効果・留意点など)

森地区の魅力や個性を示す重要な要素である町屋や蔵は、老朽化が進み、解体などにより年々その姿を消しつつありますが、このような資源を保存・活用するためには、町割りやその他の歴史文化的な資源を含め、改めて森地区の価値を認識することが必要です。またそのために、必要な調査等を実施します。

また、その価値を森地区全体、森町全体で共有化するため、講演会や町歩き等のイベントや各種媒体等を通じて情報発信することにより、保存に対する意識の醸成を図っていきます。

(具体的な取り組み例)

- ・ 町屋や蔵などの調査
- ・ 保存に対する意識醸成のための各種取組
(講演会、町歩きイベント、媒体による情報発信 など)



▲現存する町屋の例①



▲現存する町屋の例②



▲老朽化する土蔵の例

②町屋や蔵の保全と活用

- 町屋や蔵の保全^{※1}・活用を推進します。
- 町屋や蔵の保全^{※1}・活用を支援する仕組みを検討します。

※1「保全」：保護して安全にすること ⇔ 「保存」：そのままの状態を保っておくこと

(考えられる効果・留意点など)

地区内にある町屋や蔵は、森地区の魅力や個性となる重要な要素であるため、保全を推進します。また、保全を推進するうえでは、町屋や蔵が利用されることが大変重要であると考えます。このため、町屋や蔵の所有者との意見交換を行ったうえで、保全や活用を支援するための仕組みを検討します。

具体的な保全を支援するための仕組みの例として、特に歴史的価値が高いものや森町の歴史にゆかりの深いものについて、国の登録文化財制度^{※2}の活用を検討します。また、保全のための修理等に係る費用の補助・助成をする制度や、活用のため

の改修等に係る費用の補助・助成をする制度のほか、これらの補助・助成に備え、財源に充てる基金の設立などを検討します。あわせて、活用できる町屋や蔵の情報を一元化し、活用を促進する仕組みを検討します。また、その他の空き家・空き店舗についても、同様に活用を検討します。

具体的な活用の例としては、空き店舗を活用した地場産品等の販売や、町屋を活用した芸術家や陶芸家、作家の受入などが挙げられます。

当時の建築物でありながら、補修等によりその姿を変えているものも多く存在していることから、支援制度の活用により、当時を偲ぶ姿に復元されることで、歴史的な町並みが再現されていくことが期待されます。また、町屋等が利用されることにより、定住者や交流人口の増加につながり、森地区の賑わいが高まることが期待されます。

さらに、住民との合意形成を図りながら、任意のまちづくりのルール（約束ごと）を設け、町並みの付加価値を高めていくことも考えられます。

（具体的な取り組み例）

- ・国の登録文化財制度^{※2}の活用
（特に歴史的価値が高いものや森町の歴史にゆかりの深いものなど）
- ・建物保全のための修理等に係る費用の補助・助成制度の検討
- ・建物活用のための改修等に係る費用の補助・助成制度の検討
- ・町並み保全の補助・助成の財源に充てるための基金の設立の検討
- ・活用できる町屋や蔵、その他の空き家・空き店舗の情報の一元化と活用促進の仕組みづくり

など

※2「国の登録文化財制度」：身近にある文化財を積極的に活用しながら、ゆるやかに守るための制度。外観の通常望見できる範囲の1/4以上を変える場合は届出が必要であるが、それ以下や内装のみの改修では、届出不要で、自由に活用ができる。



▲国の登録文化財の活用事例
（湖西市・小松楼まちづくり交流館）



▲手入れされた町屋の例①



▲手入れされた町屋の例②

③地域の資源をいかした賑わいを生み出す仕掛けづくり

- 地域のまちづくり活動や来訪者案内のため、拠点づくりを推進します。
- 回遊したくなるような仕掛けづくりを推進します。

- 既存イベントの充実や新規イベント、新たな物産の開発など、集客する仕掛けづくりを推進します。

(考えられる効果・留意点など)

町屋や蔵の活用を促進するためには、先行的な活用の事例（モデルケース）が必要です。

先行的な活用事例として、森地区への来訪者がまず寄りたくなるような、地域の情報を発信する拠点づくりを行います。また、地域の人が集まるまちづくり活動の拠点としての機能も備えることで、地域の人同士の交流や地域と来訪者の交流など、新たな交流が促進されることが期待されます。

賑わいを高めるための工夫として、地区内を回遊してもらおうような仕掛けが必要です。具体的な回遊性を高める仕掛けの例として、まちの見方を紹介したまち歩きのマップ作成や、地域の歴史を歩きながら学べるような案内板等の設置、ボランティアガイドの活用のほか、トイレやベンチを備えた休憩ができるような空間づくりなどを検討します。また、一方通行となっている中央通りなどについても、（都）新田赤松線の整備を踏まえつつ、一方通行の解除などを検討し、自動車交通の回遊性の向上についても検討します。

さらに、集客するための仕掛けとして、森のまつりや、町並みと蔵展、森ほたるなど、既存のイベントの充実や新規イベントの開発、今ある物産のブランド化のほか、新たな物産の開発などについても検討します。

拠点づくりや回遊性を高めることで、地域の資源同士のつながりが強化され、さらに集客の仕掛けによって、新たな要素が加わることで、地域にとってより大きな資源となることが期待されます。

(具体的な取り組み例)

- 既存の町屋や蔵等を活用した拠点づくり
- 回遊性を高める仕掛けづくり
(まちの見方を紹介したまち歩きマップの作成、地域の歴史を歩きながら学べる案内板等の設置、ボランティアガイドの活用、トイレ・ベンチ等を備えた休憩できる空間づくり など)
- 集客のための仕掛けづくり
(まつりや町並みと蔵展などの既存イベントの充実、新規イベントの開発、物産のブランド化、新物産の開発 など)



▲旧児童館



▲旧城下学校

○ 地域・住民が積極的に参画するまちづくり -----

① 森地区のまちづくりを考え推進する組織の育成

- 森地区のまちづくりについて考え推進するため、その中心的役割を担う組織を育成し、継続的な活動を推進します。
- 「森地区まちづくり会」の活動を今後も継続していきたいと考えます。

(考えられる効果・留意点など)

地域のまちづくりには、地域・住民が主体的に、積極的に参画することが重要であり、継続して活動していくことが重要です。また、まちづくりは多岐にわたり、多くの人や団体が関わりながら、進めていくこととなります。

そのため、森地区のまちづくりのまとめ役であり、中心的な担い手として、まちづくりについて考え、継続的に活動する組織を育成することが必要不可欠です。

組織ができることにより、まちづくりの将来像に向かって、森地区のまちづくり全体の舵取りをしていくことができます。さらに、組織体としての位置づけを明確にし、まちづくり活動の主体となるため、NPO 法人化の検討も考えられます。

② まちづくり活動の拠点づくり

- 森地区のまちづくり活動の拠点を整備します。

(考えられる効果・留意点など)

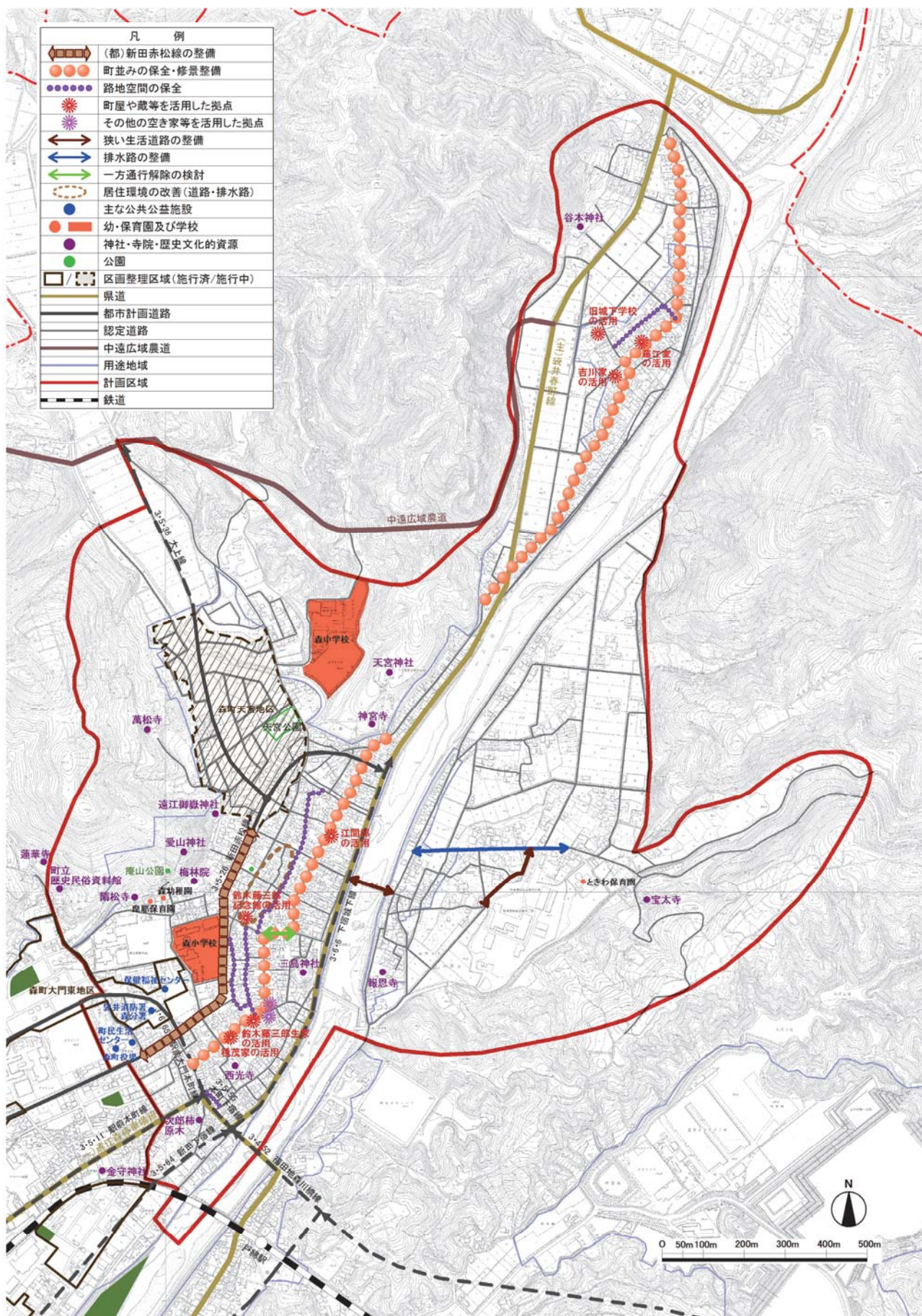
地域・住民が、地域のまちづくり活動に主体的に・積極的に参画しやすくなる環境づくりや、活動の様子が見え、情報の発信力を強めるため、まちづくり活動の拠点を整備します。

具体的な拠点づくりの例として、町屋や蔵の活用の先行的な事例（モデルケース）としたり、未利用施設や空き家・空き店舗等の活用などが挙げられます。

まちづくりの拠点ができることにより、まちづくり活動が見え、まちづくりの意識の向上を図るとともに、拠点に集まることで交流が生まれ、賑わいや活力が高まることが期待されます。

森地区まちづくりの会報告書

(まちづくり提案図)



4 今後の取り組み

前述したまちづくりの提案を実現していくには、まちづくりの将来像である『文化の薫る わたしたちが誇れる 森のまち ～歴史文化を尊重した 安心・快適な暮らしと賑わいのある まちづくり～』を目指して、地域・住民・行政等が一緒になって、継続的にまちづくり活動を進めていく必要があります。

今後の取り組みとして、森地区の課題の重要性や緊急性等を考慮し、短期的な取り組みを整理しました。下記の提案を参考の上、官民協働のもと推進していただきたいと考えます。本会においても、これらの取り組みに積極的に参画していきたいと考えていますので、今後ご指導、ご支援のほどお願いします。

■ 短期的な取り組み

短期的な取り組みとして、森地区のまちづくりを考え推進する組織を立ち上げるとともに、地域の大切な資源である町屋や蔵の滅失への対応が急務であると考えます。このため、保全活動を推進するため、価値を再認識し、保全に対する意識の醸成が必要です。また、町屋や蔵の所有者と意見交換しながら、保全を進めるための検討を進める必要があります。

あわせて、空き家や空き地が増えている現状を踏まえ、これまで整備がされてこなかった都市基盤の整備や改良を進め、居住環境の向上を図る必要があります。

まちづくりの方向性	まちづくりの提案	具体的な取り組み例
安全・安心・快適な住環境づくりと定住の促進	①都市計画道路・新田赤松線の整備推進	・整備手法の検討
	②狭い生活道路の整備・改良	・整備手法の検討 ・一部改良事業の実施
	③排水路の改良・下水道の整備と用水の活用	・整備手法の検討 ・一部改良事業の実施
	④空き地対策の検討	・整備手法の検討
歴史的な町並みなど豊かな地域の資源をいかし、賑わいを高めるまちづくり	①町屋や蔵などの森地区の価値の再認識	・町屋や蔵の調査 ・保存に対する意識醸成のための各種取組 (講演会、町歩きイベント、媒体による情報発信 等)
	②町屋や蔵の活用	・地域・所有者等との意見交換 ・補助・助成制度等の検討
	③地域の資源をいかした賑わいを生み出す仕掛けづくり	・拠点づくり ・まち歩きマップ
地域・住民が積極的に参画するまちづくり	①森地区のまちづくりを考え推進する組織の育成	・検討・推進組織の立ち上げ

5 参考資料

○ 森地区まちづくりの会の活動経過

平成23年度

開催日等	森地区まちづくりの会の活動
H23 10/28	第1回懇談会 ・『森地区まちづくりの会』発足 ・アンケートに係る内容の検討 ・ワークショッププログラム テーマ：あらためて森地区を見つめなおして、問題点や魅力を見つけよう
H23 11/18～ 11/29	『森地区に関する住民意向調査』 1,405通発送→702通回収
H23 11/26	『来町者アンケート』 ・第14回町並みと蔵展で、実施
H23 12/22	第2回懇談会 ・アンケート調査報告 ・講演会の開催について検討 ・ワークショッププログラム テーマ：森地区のまちづくり・活性化に向けて、資源や要素を抽出しよう
H24 2/25	まちづくり講演会 地域資源をいかしたまちづくりを始めよう ～近隣のまちづくり実例から学ぶ～ 『地域資源をいかしたまちづくり』 講師：遠州横須賀倶楽部 鈴木 武史 氏 『都市再生整備計画とまちづくり』 講師：湖西市都市計画課 馬淵 豪 氏
H24 3/13	第3回懇談会 ・まちづくりニュースの検討 ・ワークショッププログラム テーマ：森地区のまちづくりの方向性・取組について考えよう



平成24年度

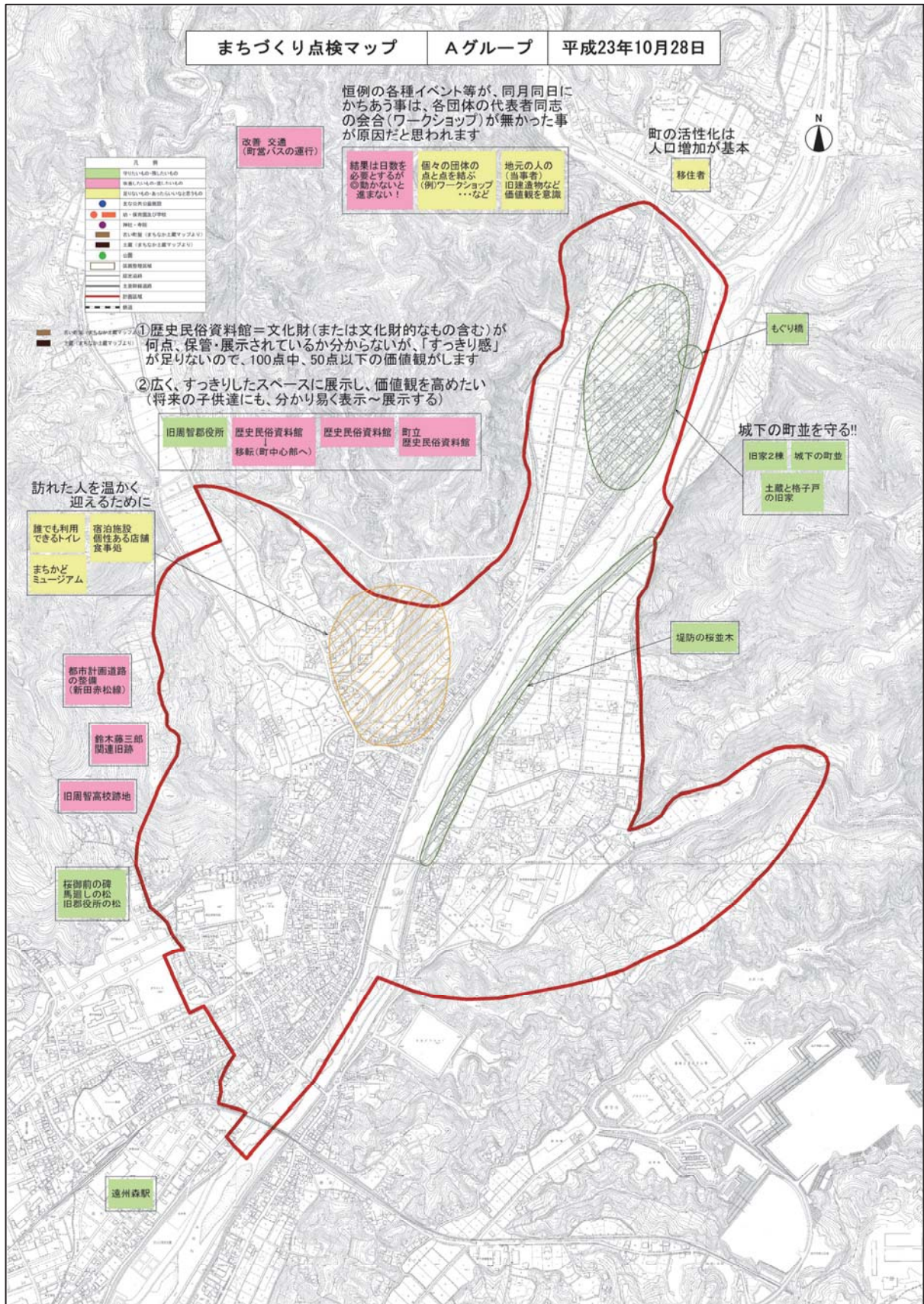
開催日等	森地区まちづくりの会の活動
H24 9/26	第1回懇談会 ・『森地区まちづくりの会』再スタート（メンバー再募集による） ・趣旨等の再確認 ・今年度のゴールの確認 ・ワークショッププログラム テーマ：3つのまちづくりの方向性について、掘り下げて考えてみよう
H24 10/30	第2回懇談会 ・事例等の研究 （歴史的建造物の保存に係る制度等の紹介）
H24 11/ 9	第3回懇談会 ・ワークショッププログラム テーマ：『町並み保存と活用』を目指す土台づくりを考えよう（1）
H24 11/30	第4回懇談会 ・ワークショッププログラム テーマ：『町並み保存と活用』を目指す土台づくりを考えよう（2）
H25 1/12	第5回懇談会 ・ワークショッププログラム テーマ①：町歩きをして、現状の森地区を再認識しよう （AM町歩きを行い、気付いたことを発表） テーマ②：森地区のまちづくりの取組についてまとめよう
H25 2/ 8	第6回懇談会 ・検討テーマ：森地区の将来イメージを共有化しよう （「森地区まちづくりの会報告書」（素案）について説明、意見交換） （コンセプト、まちづくり提案図の検討）
H25 2/26	第7回懇談会 ・検討テーマ：「森地区まちづくりの会報告書 ～まちづくりの取組への提案～」を確認しよう

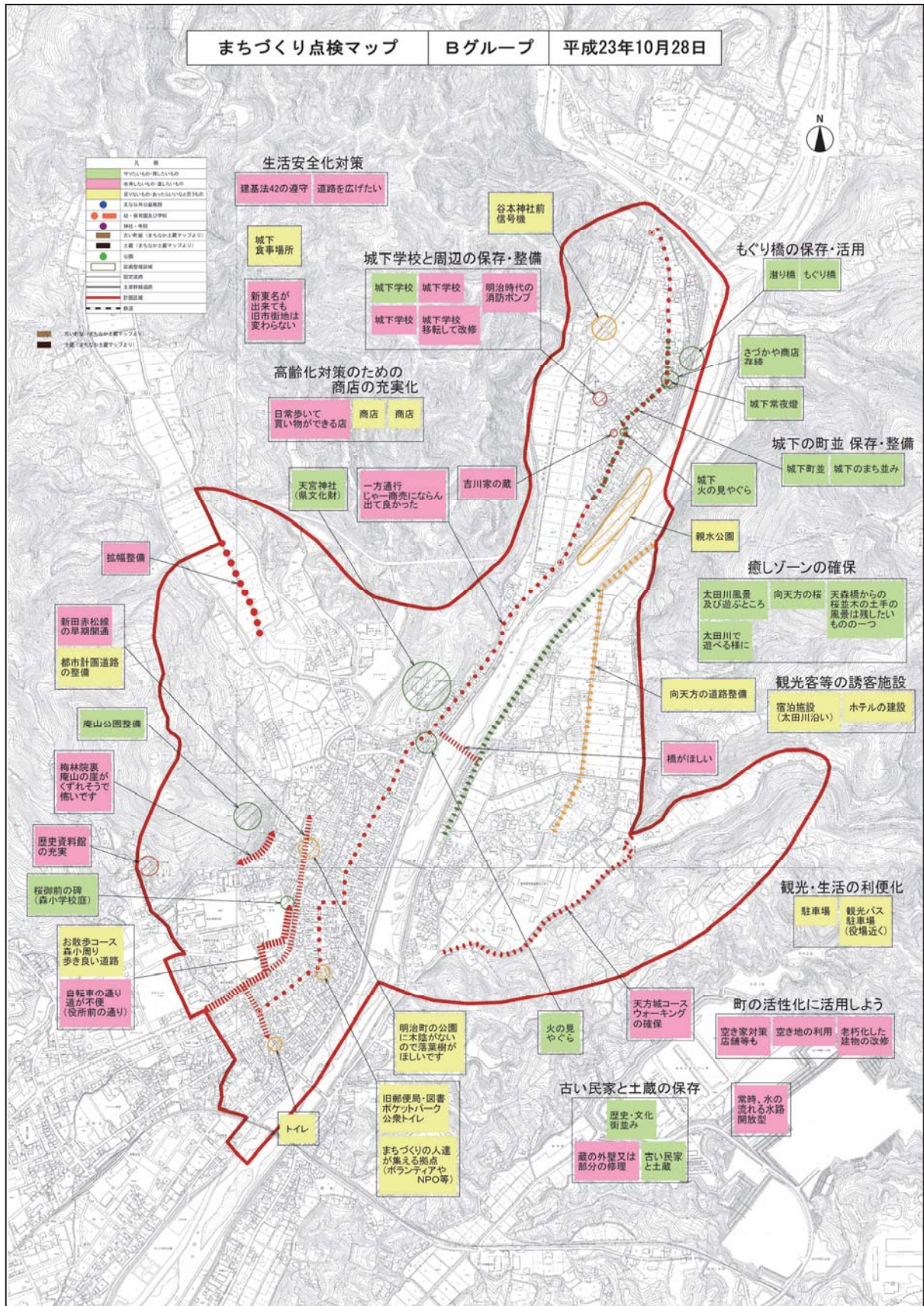


○ 森地区まちづくりの会の検討経過

平成23年度-----

・ 森地区の問題点や魅力の抽出→「まちづくり点検マップ」の作成





・森地区のまちづくりの資源・要素の抽出

視 点	抽出されたまちづくりのキーワード
生活環境・市街地環境	・地域に密着したお店（NPOで店舗経営）【B】
道路・交通	・都市計画道路を早期に整備して狭い道路は地域の資源として守る【A】
防 災	・地域の安全性を高める【A】 ・危険箇所の把握と周知【B】 ・避難経路の周知【B】 ・水害に対する備えを忘れないこと【B】
歴史・文化・景観	・町並みをしっかり守る【A】 ・個人で守るのか、行政の支援か検討【A】 ・土蔵等に対する助成【B】 ・路地のグレードアップ（…案内板（木札など））【B】
観光・産業（商業）	・森町のPRを兼ねて、受け入れ体制を作る【A】 ・中心に駐車場（ここから徒歩で町内散策）【B】 ・お店どうしの連携を図る組織づくり【B】 ・空き家・空き店舗を借りやすくする仕組み【B】

・森地区のまちづくりの方向性・取組の検討

●まちづくりの方向性

テーマ① 安全・安心なまち（市街地）づくり

- 防災対策 … 避難・危険箇所・水害
- 道路整備 … 都市計画道路・狭小道路（路地）

テーマ② 町並みの保存と活用

- 町屋・土蔵等の保存と活用
- 路地の保存と活用

テーマ③ 観光の受入体制づくりと商店街の存続

- 受入体制づくり … ソフト整備・ハード整備
- 商店街の存続 … 空き店舗対策など

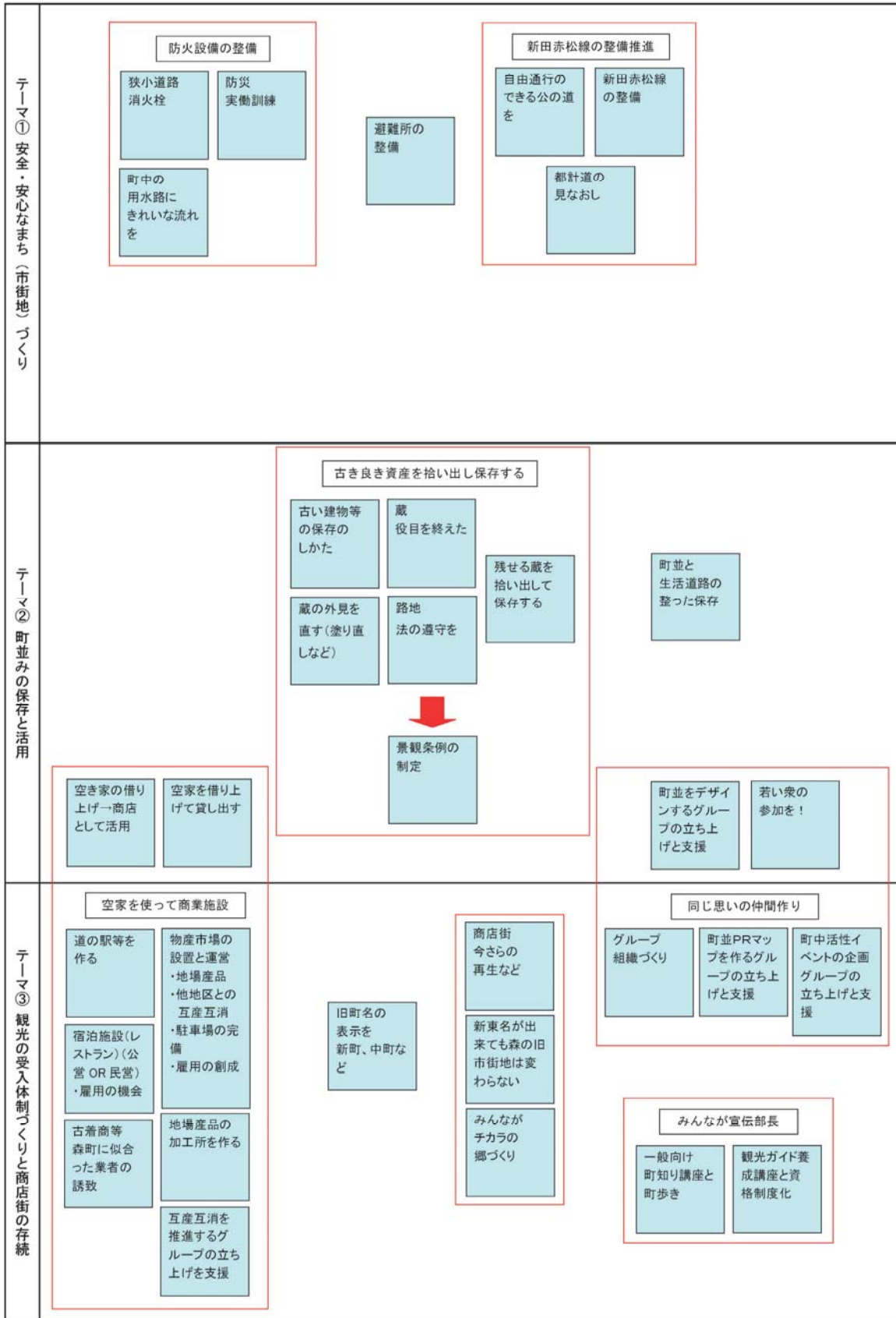
平成24年度

・今後の検討内容・取組の検討

【120313 第3回懇談会のまとめ】今後の検討内容・取組等について、考えよう 《Aテーブル》

<p>テーマ① 安全・安心なまち（市街地）づくり</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="4"> <p>正確な防災情報</p> </td> <td colspan="2"> <p>都市計画道路の整備</p> </td> <td> <p>町営バスの再整備</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>火の見やぐらなどに外部スピーカーなどの取付</p> </td> <td> <p>避難場所、避難所、避難路の周知と安全確認</p> </td> <td> <p>耐震性等の調査</p> </td> <td> <p>ダムも含めて</p> </td> <td> <p>都市計画道路の早期実現</p> </td> <td> <p>赤松、新田線の早急な整備</p> </td> <td rowspan="2"> <p>道路の安全対策、しっかり物をどける毎月、ボランティアの人が見回る</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>インターネットによる避難場所の掲示</p> </td> <td> <p>必要な情報は正確に（良心に反する事なく）流してください</p> </td> <td> <p>避難用の案内板の設置</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<p>正確な防災情報</p>				<p>都市計画道路の整備</p>		<p>町営バスの再整備</p>	<p>火の見やぐらなどに外部スピーカーなどの取付</p>	<p>避難場所、避難所、避難路の周知と安全確認</p>	<p>耐震性等の調査</p>	<p>ダムも含めて</p>	<p>都市計画道路の早期実現</p>	<p>赤松、新田線の早急な整備</p>	<p>道路の安全対策、しっかり物をどける毎月、ボランティアの人が見回る</p>	<p>インターネットによる避難場所の掲示</p>	<p>必要な情報は正確に（良心に反する事なく）流してください</p>	<p>避難用の案内板の設置</p>																															
<p>正確な防災情報</p>				<p>都市計画道路の整備</p>		<p>町営バスの再整備</p>																																											
<p>火の見やぐらなどに外部スピーカーなどの取付</p>	<p>避難場所、避難所、避難路の周知と安全確認</p>	<p>耐震性等の調査</p>	<p>ダムも含めて</p>	<p>都市計画道路の早期実現</p>	<p>赤松、新田線の早急な整備</p>	<p>道路の安全対策、しっかり物をどける毎月、ボランティアの人が見回る</p>																																											
<p>インターネットによる避難場所の掲示</p>	<p>必要な情報は正確に（良心に反する事なく）流してください</p>	<p>避難用の案内板の設置</p>																																															
<p>テーマ② 町並みの保存と活用</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="3"> <p>まち歩きルート・マップの作成</p> </td> <td colspan="2"> <p>町の案内・表示板の設置</p> </td> <td colspan="3"> <p>保存するためのしくみ</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>ルートの作成表示</p> </td> <td> <p>路地のおもしろマップの作成。見どころを書いて店に置く</p> </td> <td> <p>スタンブラリー、町屋、土蔵、路地に番号をつけて何時でも実施して観光案内所でプレゼントを出す</p> </td> <td> <p>町並みの成立を知らせる案内板の設置</p> </td> <td></td> <td> <p>土蔵の修理をボランティアで</p> </td> <td> <p>町屋の一予算化</p> </td> <td> <p>保存組織の設立</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>老人用の散歩コース ①500m②1kとかいう様に案内板をつくる</p> </td> <td> <p>まち歩きマップの作成</p> </td> <td> <p>まち歩きマップの作成</p> </td> <td> <p>町屋、土蔵に案内板をつくる。いわく、因縁も書いて</p> </td> <td></td> <td> <p>旧家の空家は持主に借りられる様に手配して、町外の人を含め希望者に居住させ活性化したい</p> </td> <td> <p>補助制度の設置</p> </td> <td> <p>組織化 NPO 化→活動費の捻出</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>◎保存すべき価値を認識する</p> </td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td> <p>保存すべき建造物のリストアップ</p> </td> <td> <p>旧跡、歴史的物件の再発見と再現（由来の紹介）</p> </td> <td> <p>400年変わらない町並み</p> </td> <td> <p>町並みの景観として「外灯」は昔の形に。せめて中心部の本通りと裏通り。</p> </td> <td colspan="2"> <p>格子戸の旧家や土蔵の持主に集まって頂き、「保存の意志など意見を聞く」会をもつ</p> </td> <td colspan="2"> <p>古い水路を再発見</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td> <p>町並み保存は(A)本通りの旧屋を所持する世帯主に集まっていたら</p> </td> <td> <p>住民の意思は？</p> </td> <td colspan="2"> <p>◎保存に対する御意見を聞く話し合いを</p> </td> </tr> </table>	<p>まち歩きルート・マップの作成</p>			<p>町の案内・表示板の設置</p>		<p>保存するためのしくみ</p>			<p>ルートの作成表示</p>	<p>路地のおもしろマップの作成。見どころを書いて店に置く</p>	<p>スタンブラリー、町屋、土蔵、路地に番号をつけて何時でも実施して観光案内所でプレゼントを出す</p>	<p>町並みの成立を知らせる案内板の設置</p>		<p>土蔵の修理をボランティアで</p>	<p>町屋の一予算化</p>	<p>保存組織の設立</p>	<p>老人用の散歩コース ①500m②1kとかいう様に案内板をつくる</p>	<p>まち歩きマップの作成</p>	<p>まち歩きマップの作成</p>	<p>町屋、土蔵に案内板をつくる。いわく、因縁も書いて</p>		<p>旧家の空家は持主に借りられる様に手配して、町外の人を含め希望者に居住させ活性化したい</p>	<p>補助制度の設置</p>	<p>組織化 NPO 化→活動費の捻出</p>	<p>◎保存すべき価値を認識する</p>								<p>保存すべき建造物のリストアップ</p>	<p>旧跡、歴史的物件の再発見と再現（由来の紹介）</p>	<p>400年変わらない町並み</p>	<p>町並みの景観として「外灯」は昔の形に。せめて中心部の本通りと裏通り。</p>	<p>格子戸の旧家や土蔵の持主に集まって頂き、「保存の意志など意見を聞く」会をもつ</p>		<p>古い水路を再発見</p>						<p>町並み保存は(A)本通りの旧屋を所持する世帯主に集まっていたら</p>	<p>住民の意思は？</p>	<p>◎保存に対する御意見を聞く話し合いを</p>	
<p>まち歩きルート・マップの作成</p>			<p>町の案内・表示板の設置</p>		<p>保存するためのしくみ</p>																																												
<p>ルートの作成表示</p>	<p>路地のおもしろマップの作成。見どころを書いて店に置く</p>	<p>スタンブラリー、町屋、土蔵、路地に番号をつけて何時でも実施して観光案内所でプレゼントを出す</p>	<p>町並みの成立を知らせる案内板の設置</p>		<p>土蔵の修理をボランティアで</p>	<p>町屋の一予算化</p>	<p>保存組織の設立</p>																																										
<p>老人用の散歩コース ①500m②1kとかいう様に案内板をつくる</p>	<p>まち歩きマップの作成</p>	<p>まち歩きマップの作成</p>	<p>町屋、土蔵に案内板をつくる。いわく、因縁も書いて</p>		<p>旧家の空家は持主に借りられる様に手配して、町外の人を含め希望者に居住させ活性化したい</p>	<p>補助制度の設置</p>	<p>組織化 NPO 化→活動費の捻出</p>																																										
<p>◎保存すべき価値を認識する</p>																																																	
<p>保存すべき建造物のリストアップ</p>	<p>旧跡、歴史的物件の再発見と再現（由来の紹介）</p>	<p>400年変わらない町並み</p>	<p>町並みの景観として「外灯」は昔の形に。せめて中心部の本通りと裏通り。</p>	<p>格子戸の旧家や土蔵の持主に集まって頂き、「保存の意志など意見を聞く」会をもつ</p>		<p>古い水路を再発見</p>																																											
				<p>町並み保存は(A)本通りの旧屋を所持する世帯主に集まっていたら</p>	<p>住民の意思は？</p>	<p>◎保存に対する御意見を聞く話し合いを</p>																																											
<p>テーマ③ 観光の受入体制づくりと商店街の存続</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="4"> <p>空き店舗の活用</p> </td> <td colspan="3"> <p>ボランティアガイドの活用</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>空き家・空き店舗の有効活用（臨時店舗、宿泊施設）（イベント時）</p> </td> <td> <p>空き店舗イベント 例：えびす講の日に甘酒をふるまうなど</p> </td> <td> <p>観光マップを道路沿いの商店など配布しておいた方がよい</p> </td> <td> <p>空き店舗の活用、文化祭明治町で正月にやった様に</p> </td> <td> <p>ボランティアガイド資格制度</p> </td> <td> <p>観光ボランティア</p> </td> <td> <p>質の高いボランティアガイド</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>老人用の休憩所、普通の店で買わなくても寄れるベンチ</p> </td> <td> <p>空き店舗の活用、空店で菓子、おもちやを配る。小学生の日とか中学生の日とか分けて</p> </td> <td> <p>外部者用の駐車場を空地を町で借りて設置、狭くても使い方を考える</p> </td> <td> <p>空き店舗に日曜などにイベントをする友の会の人</p> </td> <td colspan="2"> <p>(新)物産の開発</p> </td> <td> <p>まちづくり組織の連携</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td> <p>観光—森町の郷土料理の開発</p> </td> <td> <p>新しいツーリズムの開発</p> </td> <td> <p>町中の物産販売 レベルチェックも行う</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3"> <p>観光イベントの計画が、かぶらない様に代表者の「年4回程度の集会」(日程の調整)が必要です</p> </td> <td> <p>木三の里連などの連携</p> </td> </tr> </table>	<p>空き店舗の活用</p>				<p>ボランティアガイドの活用</p>			<p>空き家・空き店舗の有効活用（臨時店舗、宿泊施設）（イベント時）</p>	<p>空き店舗イベント 例：えびす講の日に甘酒をふるまうなど</p>	<p>観光マップを道路沿いの商店など配布しておいた方がよい</p>	<p>空き店舗の活用、文化祭明治町で正月にやった様に</p>	<p>ボランティアガイド資格制度</p>	<p>観光ボランティア</p>	<p>質の高いボランティアガイド</p>	<p>老人用の休憩所、普通の店で買わなくても寄れるベンチ</p>	<p>空き店舗の活用、空店で菓子、おもちやを配る。小学生の日とか中学生の日とか分けて</p>	<p>外部者用の駐車場を空地を町で借りて設置、狭くても使い方を考える</p>	<p>空き店舗に日曜などにイベントをする友の会の人</p>	<p>(新)物産の開発</p>		<p>まちづくり組織の連携</p>					<p>観光—森町の郷土料理の開発</p>	<p>新しいツーリズムの開発</p>	<p>町中の物産販売 レベルチェックも行う</p>					<p>観光イベントの計画が、かぶらない様に代表者の「年4回程度の集会」(日程の調整)が必要です</p>			<p>木三の里連などの連携</p>												
<p>空き店舗の活用</p>				<p>ボランティアガイドの活用</p>																																													
<p>空き家・空き店舗の有効活用（臨時店舗、宿泊施設）（イベント時）</p>	<p>空き店舗イベント 例：えびす講の日に甘酒をふるまうなど</p>	<p>観光マップを道路沿いの商店など配布しておいた方がよい</p>	<p>空き店舗の活用、文化祭明治町で正月にやった様に</p>	<p>ボランティアガイド資格制度</p>	<p>観光ボランティア</p>	<p>質の高いボランティアガイド</p>																																											
<p>老人用の休憩所、普通の店で買わなくても寄れるベンチ</p>	<p>空き店舗の活用、空店で菓子、おもちやを配る。小学生の日とか中学生の日とか分けて</p>	<p>外部者用の駐車場を空地を町で借りて設置、狭くても使い方を考える</p>	<p>空き店舗に日曜などにイベントをする友の会の人</p>	<p>(新)物産の開発</p>		<p>まちづくり組織の連携</p>																																											
				<p>観光—森町の郷土料理の開発</p>	<p>新しいツーリズムの開発</p>	<p>町中の物産販売 レベルチェックも行う</p>																																											
				<p>観光イベントの計画が、かぶらない様に代表者の「年4回程度の集会」(日程の調整)が必要です</p>			<p>木三の里連などの連携</p>																																										
	<table border="1"> <tr> <td> <p>中心部への人口の再流入</p> </td> <td> <p>人口の減少に対する認識</p> </td> </tr> </table>	<p>中心部への人口の再流入</p>	<p>人口の減少に対する認識</p>																																														
<p>中心部への人口の再流入</p>	<p>人口の減少に対する認識</p>																																																

【120313 第3回懇談会のまとめ】今後の検討内容・取組等について、考えよう 《Bテーブル》



・『町並み保存と活用』を目指す土台づくりについて検討

前回のAテーブルでの話し合いの概要

◎この『まちづくりの会』の役割は？（再認識）

- ・「やれるもの」「やれないもの」 → しっかりと成果を出す
- ・持ち主の意向が問題 → 条例化など支援策を加える
- ・（まちづくりを）実行するシステムができていない
- ・「都市再生整備計画事業」を使って、今までできなかったことをやりたい
- ・町並みは、「点としてでも残していく」
- ・治（次）部長の原木の案内

◎町並みの保存と活用の意義は？

●何のためにやるのか？

何のためにやるのか？	→保全
	→観光 →雇用の場

●空き家が多くなってきた

空き家が多くなってきた	→住環境が悪い
-------------	---------

→道路整備が必要 →まちをゆっくり歩ける →そのための資源を守る →古い旧家は残すべき →古い町並みを残すためには規制がいっぱい →地権者が反対する

→しっかりと支援する

- ・木町、下宿、城下の通り（全部残すのは無理なので）
- ・伊勢は、赤福の古い建物だけを残して、あとはハリボテだったが、町並みになっていった…

→新田赤松線の整備

●優先順位は？

- ①森川橋からの延長
- ②新田赤松線

どちらが先？何年かかるのか？

→最低限必要な区間を先行したらどうか？

→優先整備区間を検討

『小学校正門～北側の区間』

→事業費の概算を把握

（+魅力的な移転先の確保の検討）

→生活道路の幅はいらない？ →こざれいにする

- 子どもが危ない
- 地域の人しか使わない道路は大丈夫
- 緊急車両が入れない
- 何か工夫を！
- （⇒広げると旧家にかかる？）
- （⇒今の広さに価値がある（本町））

→ノウハウを含めて検討する必要がある

→まちなかの排水路 →どぶの改修 →こざれいにする →民地に水路がある →構造・においの問題 →小川を残す（太田川から水をひく） →道路の整備ができない

→人に魅せるエリアをつくる

→間口の狭い家 →住みにくいことは確かか？ →前に駐車場を作るとは、町並みにならない

→ノウハウが必要

→空き家を集約

→土地の交換分合

- ・人を受け入れる体制づくり
- ・定住施策もあわせて考える
- ・PRが足りない
- ・空き地対策
- クラインガルデン

→ノウハウがない

◎まちづくりを実行するためには？

- まちのキーマンを育てる
 - ・土地を貸し合う
 - ・めずらしいレストラン
 - ・高校をうまく活用
- ⇒コミュニティづくり
- （新田赤松線整備の）移転跡地をまちづくりに活用

前回のBテーブルでの話し合いの概要

◎今回のワークショップで考えることは・・・

- ・どんな森地区を目指すのか
- ・『何を』『何時』『誰が』を明確にして提案していく

◎進まないのはなぜか？

- ・地元の人ばかりムード
- 過去にもいろいろと検討してきたが、実行・実現できず（どうせできない…）

◎進めていくにはどうする？

『森町が動き出すことを示す』ことが、森地区のまちづくり推進の第一歩（町が森地区に対し、まちづくりを進めることをしっかりと表明することが必要）

これに加えて、

- ・地元の人が立ち上がるような仕掛けづくり
- ・『最後は人』 → 人の心を動かすことが重要
- ・地域の人のつながりが重要

↓

- ・目標をまず「明確」に！
- ・この会で計画（たたき台）を作って、地域で詰めていくのがよいのではないか？

◎どんなことを行うべきか？

●新田赤松線の整備が必要

- ・出来なかった当時とは状況が違う（反対者等の代替わりなど） → やれば進むはず

●町家を活用した店舗や、芸術家の受け入れ（陶芸・木工など）

- ・商店街にまずは人が来るように（客・定住化） → 店は出来てくる
- ・1か所でも試験的に、まずやってみる

●町並みの修景（修復）事業

- ・『保存+修景』 → 観光としての目玉
- ・ない部分は町並みをつくっていくことも必要

●森のことをどれだけ知っているか？

- ・PR不足、発信不足

↓

- ・町並みの良さを伝える、継承する → 例えば、大学生によるPR
- ・森地区のまちづくり情報の発信（豊中央の紹介）
- ・祭の活用（祭はいいんだけど… → 何をしたらいいの??）
- ・『町並みと意識』『森はたると』（何のために、どんな気持ちで → 伝わるように）
- ・森町全体をPRするマップ（お茶屋、お菓子、特産品など）
- 呼び込むためのツールとして

短期的には・・・

- 町家を使った『まちづくりの拠点』づくり
- ↓
- ・『拠点』を使ったまちづくり活動（NPO化）
- 『（仮）町並み修景事業を考える会』の設立（住民・まちづくりの会・行政による）
- ・修景事業についての計画づくり → 条例化等を目指す
- “できることから”意識の啓発や環境の整備
- ・「まちづくり情報」の発信
- ・「まちなみ見学会」の開催
- ・「案内板」の設置（歴史、由縁などを紹介）
- ・（トイレ）

中期的には・・・

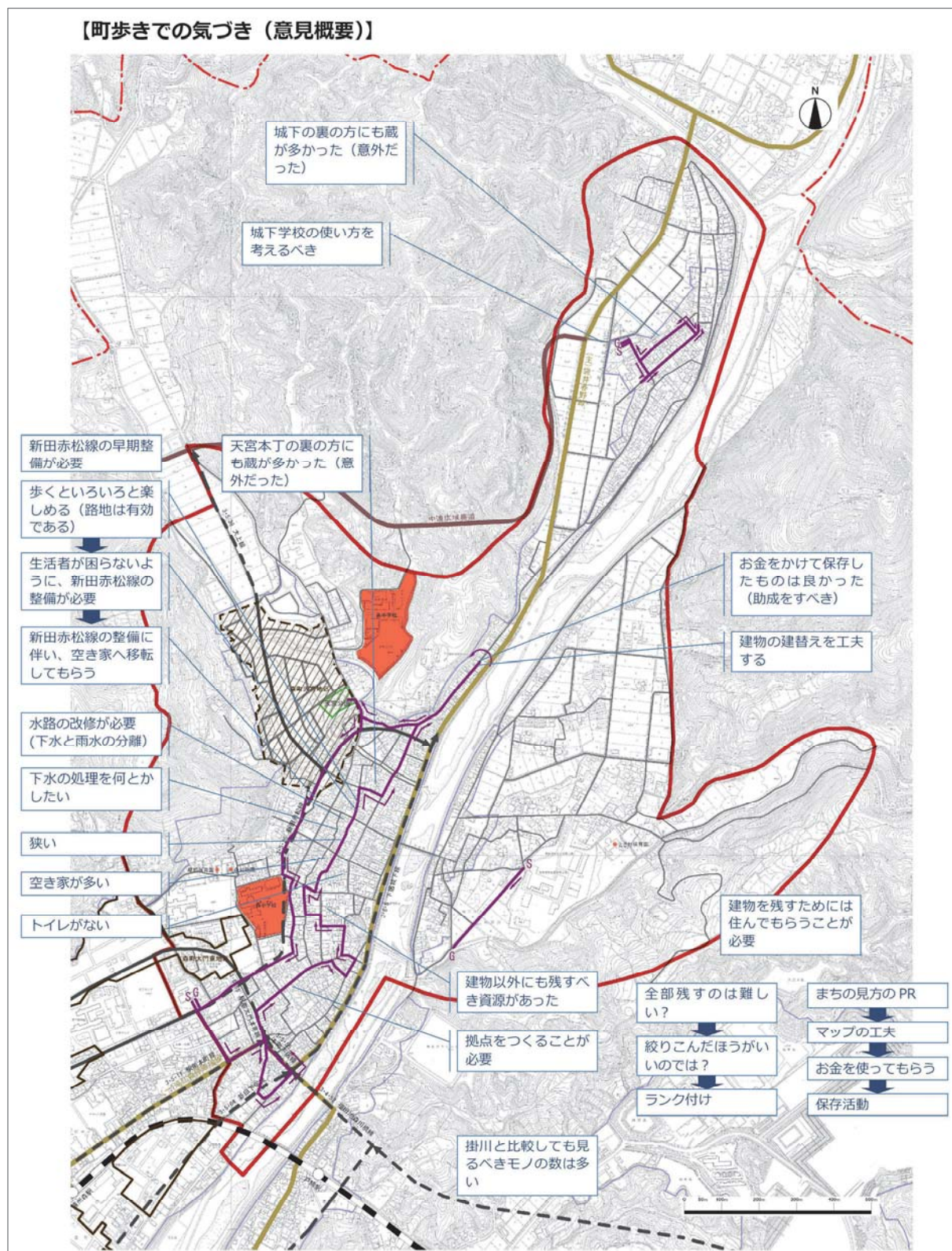
- 新田赤松線の整備（開通）

・『町並み保存と活用』を目指す土台づくりについて検討
(いつ・誰が・どんな取組をするか)

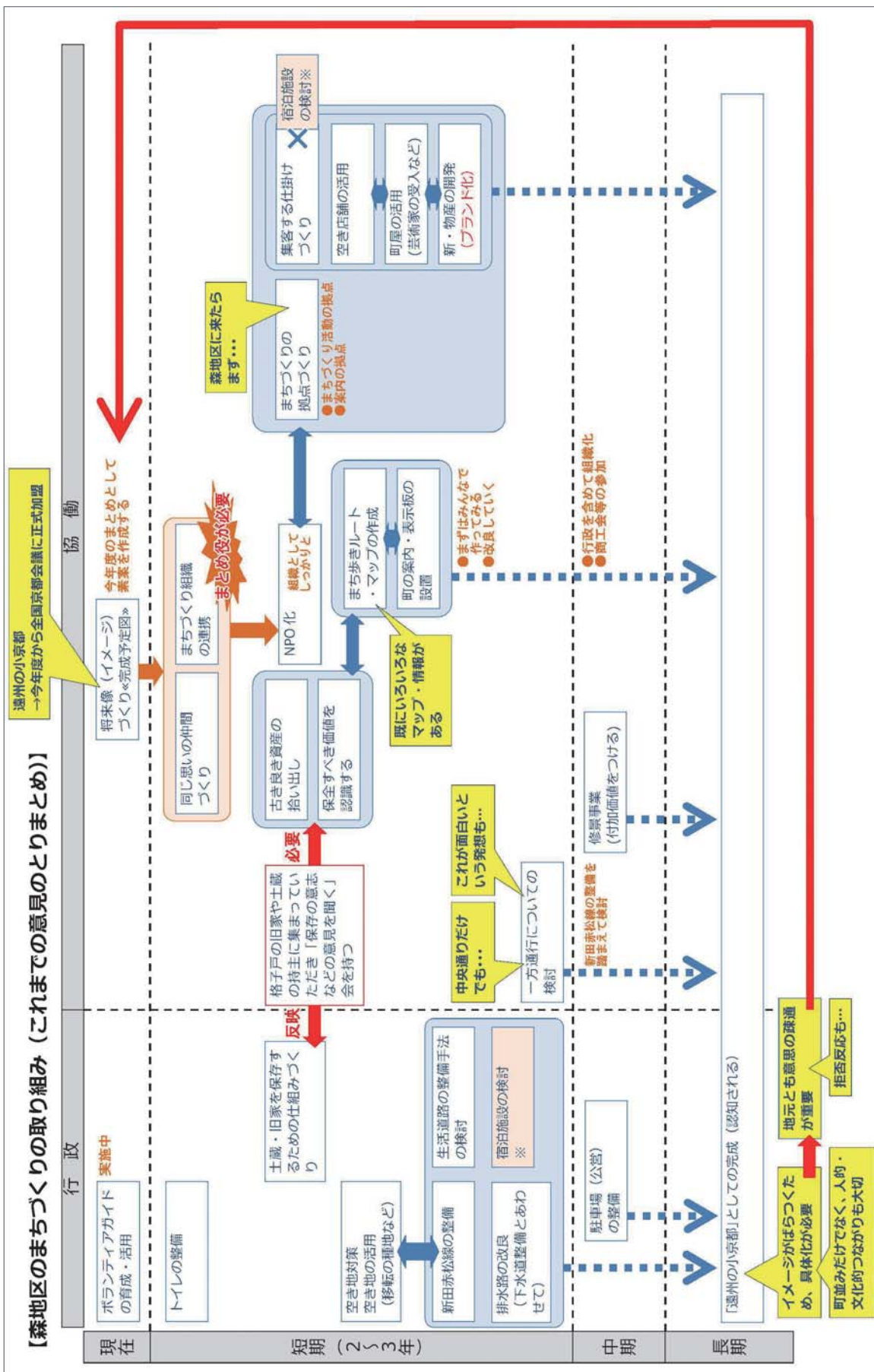
第4回懇談会(11/30)のAテーブルでの意見			
テーマ 『町並み保存と活用』を目指す土台づくりを考えよう。 青文字：当日の追加意見			
誰が・どうする いつまで	行政が主体	協働	地域が主体
短期 (2~3年)	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアガイドの育成・活用(行政主体で実施中) ●新田赤松線の整備 ●生活道路の整備手法等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり組織の連携 ●同じ思いの仲間づくり ↓ ●古き良き資産の拾い出し ↓ ●町の案内・表示板の設置 ●まち歩きルート・マップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●保存すべき価値を認識する ●格子戸の旧家や土蔵の持主に集まって頂き、「保存の意思など意見を聞く」会をもつ ●土蔵・旧家を保存するための仕組みづくり …時間がかかる(規制・合意形成) …点としてでも残す ●トイレの整備(公園に設置) 公会堂のトイレの活用 ●空き店舗の活用 ●空き地対策
中期 (次の5年)			<ul style="list-style-type: none"> ●集客するしくみづくり …目的がない →町並みと蔵展 →森はたる →まつり →古着市に期待
長期 (それ以降~)		<ul style="list-style-type: none"> ●新・物産の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●宿泊施設の整備 ●温泉?

第4回懇談会(11/30)のBテーブルでの意見			
テーマ 『町並み保存と活用』を目指す土台づくりを考えよう。 青文字：当日の追加意見			
誰が・どうする いつまで	行政が主体	協働	地域が主体
短期 (2~3年)	<ul style="list-style-type: none"> ●排水路の改良(住環境の向上) 	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり組織の連携 ●同じ思いの仲間づくり ⇒NPO ●ボランティアガイドの育成・活用 ●まちの案内・表示板の設置 ●まち歩きルート・マップの作成 ●古き良き資産の拾い出し ●保存すべき価値を認識する ●格子戸の旧家や土蔵の持主に集まって頂き、「保存の意志など意見を聞く」会をもつ ●まちづくりの拠点づくり ●一方通行について検討 ●将来像(イメージ)づくり《完成予想図》 …長期的な目標を共有して、その達成の為にやるべきことやっていく …町民の自覚を高める(まちづくりを進めるため) 	
中期 (次の5年)	<ul style="list-style-type: none"> ●新田赤松線の整備(中期で完成を目指す) 	<ul style="list-style-type: none"> ●土蔵・旧家を保存するための仕組みづくり ●修景事業 …付加価値をつけていく ●空き店舗の活用 ●芸術家の受け入れ(町屋の活用) ●新・物産の開発 	
長期 (それ以降~)		<ul style="list-style-type: none"> ●遠州の小京都の完成(認知される) …住みやすさ・暮らしやすさが第一(観光目的ではない) 	

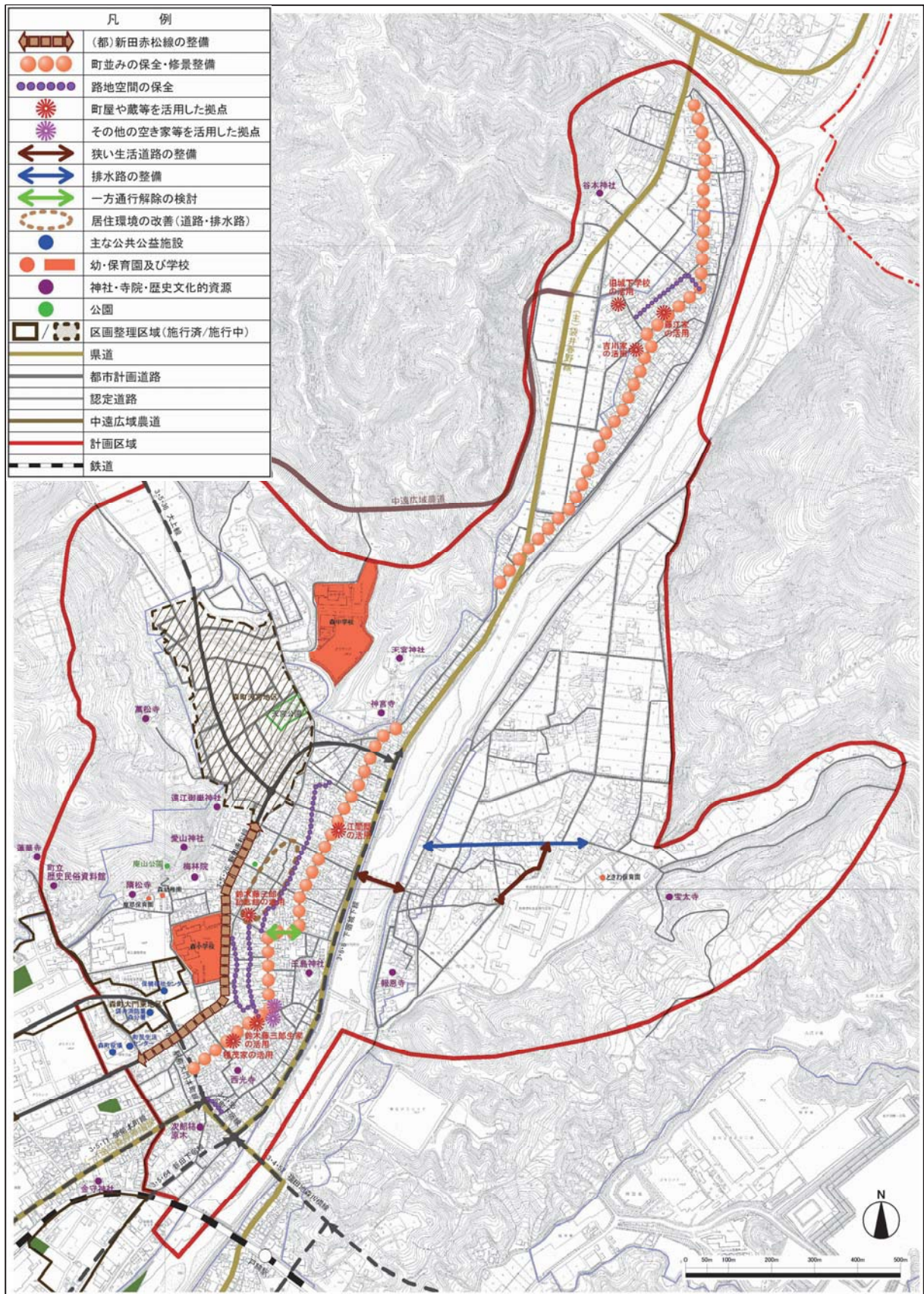
・町歩きをして、現状の森地区を再認識



・森地区のまちづくりの取り組み（まとめ）



・まちづくり提案図の検討



・「まちづくりの将来像」の検討（まとめ）

まちづくりの将来像を考えよう まとめ

まちづくりの将来像

文化の薫る わたしたちが誇れる 森の街

～ 歴史文化を尊重した

安心・快適な暮らしと賑わいのある

まちづくり ～



森地区のまちづくりの将来像（たたき台）

	投票
① みんなで再生 まつりや蔵のある風景と住みやすくにぎわいのある 森の街	0 ⇒ ×
② わたしたちでよみがえらせよう 歴史的な町並みと賑わいあふれる 森の街	8
③ 暮らす魅力と訪れる魅力を高め 賑わいのある 森の街づくり	1 ⇒ ×
④ 文化の薫る （わたしたちの誇れる故郷） 森の街の再興 ～歴史文化を尊重した 安心・快適な暮らしの創出と 地域・住民が主役の賑わいのまちづくり～	5
⑤ 蔵のある町並みとともに快適に暮らす 賑わいのある 森の街 ～地域・住民による 歴史文化を生かした 安心・快適な暮らしと賑わいの創出～	5

が ふる里古里 衰えたものを再び盛んにするという意味であり、前向きでない

「いかした」よりも大切に考えることを表現できる

当然のことであり、将来像に表現することはない

振興 創造・創出・創生・創成 更なる発展

○ 「森地区まちづくりの会報告書」とりまとめ後の活動

平成25年度は、とりまとめた報告書の内容を広く知っていただくため、町の幹部職員、町議会議員、住民（森地区24町内・正副会長及び会計）へ説明会を実施しました。

また、短期的な取り組みとして掲げた「町歩きマップ」について、地域資源の再認識や森地区内を回遊させる仕掛けの一つとして、検討・作成しました。

（平成25年度）

開催日等	森地区まちづくりの会の活動
H25 8/27	第1回懇談会 ・ 報告書の取り扱いと今後の取組について （今年度の進め方）
H25 8/29	町長への説明
H25 9/13	第2回懇談会 ・ 報告書説明会について （説明会の日程・担当分け）
H25 9/30	幹部職員への説明
H25 10/15	町議会議員への説明
H25 10/29	第3回懇談会 ・ 住民説明会について
H25 11/18	住民説明会（森地区24町内・正副会長及び会計）
H25 12/ 3	第4回懇談会 ・ 住民説明会を終えて （反省会と今後の取り組みについて）
H26 1/24	第5回懇談会 ・ 町歩きマップ（案）について ・ 住民説明会参加者（森地区町内会長）へのアンケート結果の確認
H26 4/22	第6回懇談会 ・ 町歩きマップ（案）の確認 ・ 今後のまちづくりの会の活動について
H26 5/12	第7回懇談会 ・ 町歩きマップ（案）最終確認 ・ 今後のまちづくりの会の活動について



○ 森地区まちづくりの会委員名簿

順不同・敬称略

平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
入澤 崇男	入澤 崇男	入澤 崇男
大須賀 義明	大須賀 義明	大須賀 義明
太田 康雄	太田 康雄	太田 康雄
亀澤 進	亀澤 進	亀澤 進
小平 史伸	小平 史伸	小平 史伸
榊原 淑友	榊原 淑友	榊原 淑友
高木 一雄	高木 一雄	高木 一雄
中村 禮二	中村 禮二	中村 禮二
二藤 勲	二藤 勲	二藤 勲
林 昭光	林 昭光	林 昭光
藤江 彰	藤江 彰	藤江 彰
村松 竜也	村松 竜也	村松 竜也
松浦 昭治	松浦 昭治	松浦 昭治
山内 薫明	山内 薫明	山内 薫明
小倉 伸吾	北島 勝	北島 勝
鈴木 加代子	出口 裕	出口 裕
鈴木 富之	村松 静	伊藤 和子
塚本 哲幸		
松井 裕子		
山田 正光		
山田 八重一		



新町の町並み



仲町裏の土蔵群



秋葉山常夜灯

■ お問い合わせ先

森地区まちづくりの会

事務局/森町役場建設課内

〒437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1

TEL: 0538-85-6321 FAX: 0538-85-4419

E-mail: kensetsu@town.morimachi.shizuoka.jp

URL: <http://www.town.morimachi.shizuoka.jp/>

■ 表紙及び裏表紙の絵は、大須賀義明氏によるものです。